

令和7年度 江戸川区立中小岩小学校 特別活動全体計画

学校の教育目標	人権尊重の精神に則り、自ら考え社会の一員としての自覚を高め、心身ともに健康で人間性豊かな児童の育成を目指し、次の目標を設定する。 ・よく考える子（課題に真剣に向い、しっかり判断し、粘り強く取り組む子）●思いやるのある子（自他の生命を尊重し、誰に対しても優しい子）・たくましい子（明るく元気で自らの健康・体力の向上を図る子）
特別活動の目標	望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。
目指す児童像	○活動の目標を達成するための方法や手段などを全員で考え、話し合い、協力して実践できる子 ○自分の役割や責任を果たすとともに、活動を振り返り、生かすことができる子 ○集団の中で互いのよさを認め合うことができ、思いやりの心をもった子
特別活動の重点目標	集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次の通り資質、能力を育成することを目指す。

目標	学級活動		児童会活動		クラブ活動		学校行事	
	指導の方針		主な指導内容		各教科・読書科		特別の教科・道徳	
目標	学級や学校での生活をよりよくするための（課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成をし、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定したりして実践していく。		異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力をして運営することにより自主的・実践的に取り組んでいく。		異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営することにより自主的・実践的に取り組んでいく。		全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共精神を養いながら、自主的・実践的に取り組んでいく。	
指導の方針	●楽しく豊かな学級生活づくりのために、互いに尊重し、よさを認め合えるような人間関係を築くために低学年では仲良く助け合おうとする人間関係、中学年では協力し合おうとする人間関係、高学年では信頼し支え合おうとする人間関係の育成を重視する。 ●自己のよさや可能性を生かして楽しく豊かな「学級や学校の生活づくり」に参画できるような自発的、自治的な態度を育成する。		異年齢集団活動を通して、上学年が下学年を思いやり、下学年が上学年にあこがれをもち、仲良く、協力し、信頼し支え合おうとする人間関係を形成したり、集団の一員として自分の役割を果たし、協力してよりよい学校生活づくりに積極的に取り組んだりすることについて児童自身が意識して努力したり、自らが主体的に取り組んだりするなどの自主的、実践的な態度を育成する。		学年や学級が異なる同好の児童が互いに協力し、信頼し支え合おうとする人間関係を築くことができるようにするとともに、児童の興味・関心にかかわるよさや可能性について、多様な他者との人間的な触れ合いの中で認めあうことができるようにする。		全校又は学年という大きな集団の特質をよく理解し、児童が各種の学校行事に積極的に参加できるようにしたり、役割を担ってその責任を果たすことができるようにしたり、共に喜びや苦勞を分かち合いながら目標を成し遂げることができるようにしたりするなど、望ましい体験的な活動が展開できるようにする。	
主な指導内容	(1)学級や学校における生活づくりへの参画 ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決 イ 学級内の組織づくりや役割の自覚 ウ 学校における多様な集団の生活の向上 (2) 日常の生活や学習への適応と自己成長及び健康安全 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現		学校的全児童をもって組織する児童会において、学校生活の充実と向上を図る活動を行うこと。 (1) 児童会の計画や運営 (2) 異年齢集団による交流 (3) 学校行事への協力 ●代表委員会 4年生以上（4年のみ前後期で交代） ●委員会活動 5・6年生（給食、保健、環境、放送、図書、運動、集会、掲示、代表） ●全校児童集会		学年や学級の所属を離れ、主として第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて異年齢集団の交流を深め、共通の興味・関心を追求する活動を行うこと。 (1) クラブの計画や運営 (2) クラブを楽しむ活動 (3) クラブの成果を発表		●儀式的行事：学校や地域の自称について学習したことを基に、学校や地域の一員としての自覚を高めるようにする。●文化的行事：図画工作科の学習の成果を発表し合うことでそれらの学習の向上及び意欲を一層高める。（＊展覧会は図画工作科として換算） ●健康観察・体育的行事：体育の学習成果を発表し、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成する。 ●集団宿泊的行事：社会や理科、生活などの学習を生かして、自然や文化などに親しみ、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積む。●勤労生産・奉仕的：勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られる活動を行う。	
各教科・読書科	●各教科等の指導で身につけた言葉の確に理解・表現する能力、互いの立場や考えを尊重し伝え合う能力などを活用したり、これらの能力を向上させたりする。特に学級会の仕方などの指導は、国語科の学習内容との関連を図って指導する。 ●「学校図書館の利用」や「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」や「食育の観点から踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」などは、国語科や体育科、家庭科の学習とも関連を図って指導する。		各教科で身につけた能力などを、児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりのためによりよく活用できるようにしたり、児童会活動で身につけた自主的、実践的な態度を各教科等の自主的な学習に生かしたりできるようにする。		各教科の学習を中心として行われる様々な教育活動の中で、一人一人の児童の自主的な活動が促され、それぞれの児童が自己の特性を生かしながら学級や学校の生活を送ることができるようになるとともに、クラブ活動を通して、身につけた様々な技能や態度が、他の教育活動においても生かされるようにする。		●儀式的行事：学校や地域の自称について学習したことを基に、学校や地域の一員としての自覚を高めるようにする。●文化的行事：図画工作科の学習の成果を発表し合うことでそれらの学習の向上及び意欲を一層高める。（＊展覧会は図画工作科として換算） ●健康観察・体育的行事：体育の学習成果を発表し、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成する。●集団宿泊的行事：社会や理科、生活などの学習を生かして、自然や文化などに親しみ、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積む。●勤労生産・奉仕的行事：生活・社会などの学習を生かして、勤労の尊さや生産の喜びを体得させ、社会奉仕の精神を養う体験を行う。	
特別の教科・道徳	低学年では、自分がやるべき仕事をしっかりと行い、友達と仲良く助け合うことを、中学年では、友達と互いに理解し、信頼し助け合うことを、高学年では、互いに信頼し、学び合い、協力し助け合うこと、身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。		低学年は、わがままをしないで自分でできることが自分でやること、よく考えて行動し、節度のある生活をするを、高学年では、誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすること、身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。		4学年は、自分でやろうと決めたことは粘り強くやり続けること、尊敬と感謝の気持ちをもって接すること、5・6年生は、進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくすること、誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすることを重視する。		儀式的行事では、礼儀正しくみんなで協力し合い、伝統や文化を大切にすることを、文化的行事では美しいものや気高いものに感動する心をもつことを、健康安全・体育的行事では、健康や安全に気をつけ生命あるものを大切にすることを、遠足・集団宿泊的行事では、自然環境を大切にすることを、勤労生産・奉仕的行事では、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役立つことを重視する。	
外国語活動との関連	外国語活動で身につけたコミュニケーションへの積極的な態度を諸活動にいかせるようにする。		外国語活動で学んだコミュニケーションの場面や働きに配慮した体験的なコミュニケーション活動の成果を生かすようにする。		「相手との関係を円滑にする」「事実を伝える」「考えや意図を伝える」「相手の行動を促す」などの学習体験を生かす。		外国語活動で身につけた国語やわが国の文化に対する理解を深め、世界の人々と相互の立場を尊重、協調しながら交流しようとする態度を諸行事に生かす。	
総合的な学習の時間	総合的な学習の時間で身につけた自分とのかかわりに基づく課題発見力、主体的な学習態度などを、学級の諸問題を解決する実践活動にいかせるようにする。		総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスや友達同士の学び合いなどを学校の諸問題の解決や、児童集会の企画・運営などにいかせるようにする。		総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスにおける創意工夫を、クラブ活動における多様な展開にいかせるようにする。		総合的な学習の時間の環境や自然を課題とした問題の解決や探究活動として行われる体験活動と遠足・集団宿泊的との関連や総合的な学習の時間に行われる社会とのかかわりを考える学習活動としての体験活動と勤労の尊さや生産の喜びを体得し社会奉仕の精神を養う体験を行う勤労生産・奉仕的行事との関連を重視する。	
家庭や地域との連携	楽しく豊かな学級や学校の生活づくりや健全な生活態度を育成する活動を効果的に展開するために、個々の家庭の状況に配慮したり、学校と家庭の指導との連携を図ったり、地域の人材を活用したりする。また、基本的な生活習慣の形成、心身ともに健康で安全な生活態度の形成、食育の観点を踏まえた望ましい食習慣の形成などの事項は家庭での指導と連携を図り効果的な指導をする。		児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりの活動を効果的に展開するために、家庭や地域の協力を得たりする。また、学校行事に協力する児童会活動として、運動会を行う際に敬老席を用意して地域の高齢者を招待するなどして、地域の福祉に携わる活動や仕事をしたい人々の協力を得たりする活動などを行う。		児童の興味・関心を基本としながら、地域の方々の協力を得て、伝統芸能や文化と関連づけて、外部講師や地域の教育力を活用したりするなど、地域の実態や特性を考慮した活動を促す。		文化的行事や健康安全・体育的行事などにおいて、地域社会の人々が参観しやすいように、期日などを考慮したり、地域の伝統文化に触れる活動や地域の行事と学校行事との関連を図って実施するなどして、学校の教育について積極に地域の人々に理解を得る。また、勤労生産・奉仕的行事などでは、保護者や地域の関係団体の協力を得るなど地域の人々との連携を図ったり、家庭への積極的な参加を呼びかけたりする。	
備考								